

わ
っ

WAKKA

鳥取市のまちなかを
応援する情報誌

2025

SUMMER

vol.

56



特集 **人が集えば、何かが生まれる**

FREE
ご自由にお取り
ください

人が集えば、何かが生まれる

「いろんな人たちが行き交うこの場所で、人が集まるコーヒー屋を作りたかった」。袋川にかかる花見橋を久松山方面へと渡った角地に、今年3月にオープンした「KROW TO COFFEE」。店主の小坂諒平さんは4年前にUターン。好きなコーヒーを仕事にしようと開業した。高校生から地域のシニア世代まで老若男女のお客さんが訪れ、一杯のコーヒーを味わいながら、そこで生まれる交流も楽しんでいる。



「コーヒーの出会い」

「出会い」は人生を変えることがある。小坂さんにとってのそれは大学時代に飲み始めたコーヒーだった。「それまではカフェオレとかしか飲んだことなかったんですが、飲んだら『あ、おいしいかも』って思いました」。最初はコーヒーの味が好きになり、そのうち大学があった埼玉県から都内のカフェ巡りをするのが趣味になった。「最初は味比べをしていたのですが、だんだんコーヒーを楽しむというよりもそのお店の持つ雰囲気や、その店主やお客さんとの会話が楽しくなりました」



KROW TO COFFEE
店主 小坂諒平さん

人とのつながりが醍醐味

オープンして3カ月。生豆の選定からドリップまで一貫し、全体収穫量の数%しかないスペシャルティコーヒーにこだわった店には、学校帰りの高校生から近くに住むシニア世代まで幅広いお客さんが訪れる。

「もともと目指すお店のスタイルがあって、それはヨーロッパで17世紀に流行ったコーヒーハウスです。当時の人たちにとって一つの社交場であり、コーヒーを通してそういう空間が作りたいと思ってきました。最終的には『あ、あの人が来ているかもしれない』と会いに来る人がいる、そういう店になれたら嬉しいですね」



「人にとっては長いかもしれませんが、僕には陸上で磨いた忍耐力があります。目標達成に向けたプロセスは陸上と似ていて、結果が出るまでの9割は地道にやることをやる。小さな目標を一つずつクリアしてきたので、不安はなかったですね」
それに加えて、大きかったのが地元の人たちの温かさだった。いろんな人たちが応援してくれ、同業者もアドバイスをくれたという。最初は全然帰るつもりはなかったが、いつしか鳥取で挑戦できることに喜びを感じていた。



KROW TO COFFEE
鳥取市元町221
駐車場：店舗横ガレージ2台
OPEN: 10:00~18:00 LO.17:45
夜コーヒー：金土(19:00~24:00 LO.23:45)
CLOSE: 水






もともと人と話すのが好きだという小坂さん。コーヒーを通じて改めて人と話す楽しさを感じ、就職では営業職に就いた。岡山市で働いたがコロナ禍で直接人と触れ合う機会が減り、閉塞感の中で仕事にも馴染めなかつたと振り返る。

「未来が見えなくなって、何かを変えらるなら早い方がいいと思いました」自分の人生をもう一度考え直そうと、鳥取に帰ることにした。

カウンター席のみにしたのも、お客さんとのコミュニケーションを大事にしたいという思いから。注文時にはその日の体調や気分など、会話で得たものを基にコーヒーの淹れ方も微妙に変える。人とのつながりの中で淹れる一杯、会話や出会いが何よりも楽しさややりがいにつながっている。

「人が集うことで生まれるものがあると思っています。そういう中から自分がそうしてもらったように、誰かの挑戦を応援できるようになれたら。今はまだまだなので、もっと頑張りたいですね」まだ先にあるゴールを見据え、着実に歩を進めている。



『わっか隊』と巡るまちなか散歩

わたしの好きなまちの〇〇編

わっか公式キャラクター「わっか隊」が、鳥取在住の作家さんたちの目線でまちなかで見つけた『好き』なスポットから、夏におすすめのお店などを巡ってみました!



albero池田真木さんの好きなまちのお店
オーガニックスタイル 水越屋



オーガニック食品や雑貨を扱うお店。
爽やかなミントティーや淹れがとんでいく梅醤番茶がイタオン。



季節の素材を使ったジェラート屋さん。ワインとのリアージュも♡



なかむら朋子さんの好きなまちのお店
gelateria+X
(ジェラテリア タストカケル)



鳥取市役所東駐車場に隣接する公園。広々とした芝生と新遊具に注目!



おっぼーさんの好きな公園(動物遊具)
幸町棒鼻公園
(さいわいちょうぼうばなこうえん)



無国籍ファッションアイテムと雑貨が並ぶ楽しい店内。
看板犬がお出迎え♪



TROPICAL ARTSさんの好きなお店
ラスト



まちなかの取り組みをご紹介します! とっとりまちづくり

「クールシェルター」をご利用ください!

暑い日は我慢しないで

6/1(日)~9/30(火)の間、まちなか各所にも「クールシェルター」を設置しています! まちなかにお越しの際の「ちょっとひと休み」にご利用ください。

主な協力施設(裏表紙のMAPをご覧ください)

鳥取バスターミナル、丸百百貨店、シャミネ鳥取、まちバル鳥取、片原駐車場、各地区公民館のほか、市内各郵便局、イオン(鳥取市内3店舗)及びイオンモール鳥取北、各総合支所など、市内の多くの施設・店舗にご協力いただいています。

クールシェルター協力施設募集中!

「冷房設備・休憩スペースが整っている」「涼しい場所でお買い物ができる」など、ご協力いただける施設・店舗がありましたら、ぜひご登録をお願いします!



(写真は鳥取中央郵便局)

詳細はこちら



熱中症予防のポイント

- のどが渇く前にこまめに水分を摂取しましょう
- 我慢せずに、エアコンの適切な利用・風通しを良くする工夫をしましょう
- 大量の汗をかいたときは塩分も補給しましょう
- バランスのよい食事やしっかりとした睡眠を心がけましょう
- 涼しく過ごす工夫をしましょう
- 天気や気温を確認しましょう

◎お問い合わせ先: 鳥取市保健所 保健総務課 鳥取市富安2-138-4 駅南庁舎1F9番窓口
TEL:0857-30-8521 FAX:0857-20-3964 E-mail:hokensoumu@city.tottori.lg.jp

「まちづくりワーケーションプログラム(通称:まちワケ)」 のフォローアップに取り組んでいます

「まちワケ」とは?

都市部人材と地元人材で、空き家・空き店舗の利活用によるまちづくりを考える取組です。令和6年度は、地元企業が抱える課題を空き家・空き店舗の活用によって解決へ結びつける事業提案を2チームに分かれて考え、実現に向けて取り組んでいます。

フォローアップの取組

Unit A テーマ: お母さん牛ブランド「夏日牛」の地域での知名度拡大と販路拡大

フォローアップの取組:
令和7年7月13日(日)
夏日牛を知ってもらうためのイベントを砂鳥ビルで開催予定
※詳細は「わっか」SNS等で随時発信します。

Unit B テーマ: 社会的孤立の解消に向けた地域連携パートナー養成による“居場所と出番”づくり

フォローアップの取組:
奇数月に社会的孤立の解消のためのマルシェイベントをサポート



受付窓口が変わりました

令和4年度のまちワケで事業化した「まちなか居住体験施設kari巢mai(かりずまい)」をぜひご利用ください!

受付窓口: (一財)鳥取開発公社 TEL:0857-22-4742
鳥取市西町2-311 鳥取市福祉文化会館5F



◎お問い合わせ先: 鳥取市 都市整備部 まちなか未来創造課 鳥取市幸町71鳥取市役所本庁舎5F 53番窓口
TEL:0857-30-8331 FAX:0857-20-3953 E-mail:machinakamirai@city.tottori.lg.jp

